



環境や文化保全など、幅広い分野で地域社会に貢献しています

～地域への感謝を込めて～ 地域社会への感謝活動

当行は、2018年10月1日に「創立85周年」を迎えました。この節目の年に、地域社会へ改めて感謝の思いを伝えるとともに、90周年、100周年に向けたさらなる飛躍を願い、「しがぎん創立85周年記念イベント(地域社会への感謝活動)」を実施しました。「地域社会への感謝活動」は、地域の魅力にスポットを当て、歴史、伝統行事、文化、産業などの発掘や振興に当行役職員が貢献することを目的としています。活動を通じて触れた地域資源や歴史文化の魅力は、2019年4月発行予定の地域総合誌「かけはし」特別増刊号でご紹介する予定です。

おかげさまで
85周年

自然がもつ価値や環境を後世へつなぐ 「ゆりかご水田せせらぎの里」に協力

魚のゆりかご水田は、琵琶湖と田をつなぐ排水路に魚道を敷くことで生態系を守るとともに、自然と共生できる農業の実現を目指すものです。野洲市須原地区では、地元の農家の方が中心となって2008年から魚のゆりかご水田に取り組まれています。当行は2015年より、魚道作り、田植え、稲刈り、生きもの観察会に地元支店の行員を中心に家族ぐるみで協力。持続可能な地域社会の創造と「世界農業遺産」認定を目指す活動の一つとして応援しています。



地域スポーツの振興による地方創生 「しがぎん創立85周年アニバーサリーマッチ」を開催

2018年9月15日、「しがぎん創立85周年アニバーサリーマッチ」と題して2018プレナスなでしこリーグ第11節「セレッソ大阪堺レディース vs AC長野パルセイロ・レディース戦」の協賛試合を滋賀県で開催しました。当日は、当行役職員を含む1,640名が観戦。また、「世界に羽ばたくサッカー選手を滋賀から」との思いを込めて、試合に先立ち開催されたサッカー教室「セレッソ大阪サッカークリニック」に小学生をご招待。プロサッカーコーチのもとで練習を行いました。



復活! 観音寺城 「観音寺城址整備プロジェクト」に協力

観音寺城は知名度としてはやや劣るものの、「規模」、「歴史」、「残る遺構の量」では安土城を大きく上回る巨大山城です。2014年より地元有志の方々や企業が中心となり整備活動に取り組まれており、当行も地元の支店を中心に散策路の整備や植樹などの活動に協力しています。



観音寺城址とは?

近江八幡市安土町にあった近江守護六角氏の居城址で、1,000を超える曲輪(くるわ)と数多くの石垣が残る城址です。日本100名城にも選ばれ、織田信長は安土城の築城に際してこの観音寺城を手本にしたともいわれています。